

ネットワーク堀

第52号

令和2年1月31日

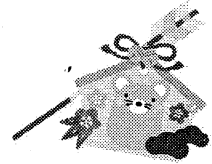
発行

大正地区福祉
推進協議会

大堀区の福祉の課題

大正地区福祉推進協議会会長

高橋



大堀区の皆様、平素は大堀区ならびに大正地区福祉推進協議会に対して多大のご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、少子高齢化が叫ばれてから久しいですが、今の高齢者への施策が高齢者にとって優しい或いは幸せにするかと言えば、どうも違うような気がします。

まず、最前線でお年寄りの見守りをお世話になっております民生委員の方々への待遇があまりにも貧弱です。昔は一世帯に三世代同居というのも珍しくなかったのですが、今は核家族化が進み、お一人暮らしの高齢者が増えていきます。近所に息子さんや娘さんがおられる場合はまだしも、京阪神以遠におられる場合は、普段はもとより災害などの時には全くあてに出来ません。やはり地域の方々に頼らざるを得ません。そんな時、一番頼りになるのが民生委員さんです。ところが先にも書いたように、民生委員さんの待遇はあまりにも貧弱なのです。もちろん民生委員の皆さんはお金のために活動されているわけではありません。昔のような名誉職という考えは現在では通用しません。

現に大正地区でも民生委員不在の自治会が複数あります。その自治会にお住まいの高齢者はどうでもいいのか？ 例え、民生委員不在の地域へは社会福祉協議会(社協)から一時的に派遣してほしいものですが残念ながらそ

のような対応はありません。それどころか、これからは市の方策として要支援1・2の高齢者は地元で看なさいと言います。

民生委員さんは全くのボランティアです。これでは必要としている高齢者に目が行き届かないので、結局しわ寄せは高齢者に行くという事になります。私たちは、なんとか一人でも幸せな老後を送るお手伝いが出るように地域の環境を整えたいものです。

若い世代の人たちも、いずれは同じ境遇になって行きます。ぜひとも福祉の現状にお力をお貸しいただき、お互いが我が事として助け合えるような地域にしたいものです。

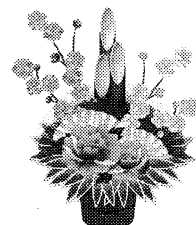
地区公民館の役割・地域づくり

大正地区公民館 館長 菅 沼

大正地区の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は大正地区公民館の事業に多大なるご理解・ご協力・ご支援をいただき、厚く感謝申し上げます。

今年度で館長として三年目を迎えました。今後とも何卒宜しく願っています。

さて、大正地区公民館は、永年継続されているテーマの「集い・学び・ふれあい」の場所づくりを念頭に置いて、大正にお住まいの皆様とのコミュニケーションを大切に、取り組んでいきたいと考えております。今年度の公民館活動の取組の中で、八月に『夏祭り』を本部事業として実施いたしま



した。新たな事業ではありましたが、子ども達を含めた地域の皆様方に多数お越しいただき、盛況の中、世代交流も図れたと思います。

また、「公民館だより」にも掲載させていただいておりますが、昨年度の反省や課題を踏まえ、地域や学校との連携も密に取りながら今年度も『公民館まつり』を実施させていただきました。天候にも恵まれ、野外ステージも盛り上がる中、多くの皆様にご参加いただき、公民館本来の目的である《ふれあいの場》を提供できたかと思っております。平成二十九年、桃映地域公民館（桃映コミセン）誕生後、大正地区と庵我地区の公民館で合同事業等の交流が深まる中、大正地区公民館の在り方について客観的に見直す機会も増え、今後の運営に生かせたらと考えております。

このネットワーク堀にも以前書かせていただきましたが、地域社会においての公民館の役割として、「誰もが気軽に寄つてみたくなる魅力ある事業の発信」「参加したことによるふれあいとその後の人間交流」「地域づくりに貢献できる人材（リーダー）の育成」等が世代間の行き来が乏しい現在、公民館に求められているニーズだと考えます。まずは、身近なところから考え行動することを原点に、一歩ずつ前へ進みたいと思います。

大正地区にお住まいの皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしますとともに、これからも大正地区公民館にご支援いただけますよう、何卒宜しくお願いいたします。

令和二年福知山市消防出初式が開催されました

福知山市消防団大正分団 分団長 四方

日頃は、大正分団の活動に格別のご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、福知山市消防出初式が一月十二日に開催されました。

大正分団におきましては、式典に先立ち、毎年恒例である一宮神社

での無火災・無災害祈願をし、その後、厚生会館での式典において、大正分団から十三名の団員が表彰を受け、広小路で分団行進を行いました。

昨年も全国では大きな自然災害が相次いで発生し、多大な被害をもたらしました。幸いにして福知山市では大きな災害などは無く、平穏な一年を過ごすことが出来ましたが、災害はいつ起こっても不思議ではないと、本年も気を緩めることなく災害や火災から地域を守るため消防団員一丸となって防火防災活動に取り組んでいきます。

さて、昨年三月に大正分団は新統合詰所を開所するとともに、分団を2部体制に再編成して運用を開始しました。また、新たに公立大学の学生や女性が大正分団に加わり活動しております。今後とも災害に強いまちづくりを目指し、消防団員の加入確保を含め、大堀区とともに輝かしい年にしていきたいと思います。

これからもご支援ご協力をお願いいたします。

大正分団表彰者

人との出会いを大切にした一年間

桃映中学校 校長 岸 本

平成三十一年度、そして令和元年度の本校は「夢・絆く人との出会いを大切に」を意識し、生徒たちの積極的なボランティアへの取組と人との出会い（様々な分野で活躍されている方の講演聴講）の取組をすすめてきました。

例えばボランティアでは、大正地区公民館主催のふれあい祭りや桃映コミセン主催のフリーマーケットへの参加、堀会館主催の親子ふれあいの夕べや文化祭に、また青年会議所の「福知山イル未来と」にも参加いたしました。当然、俺我での活動にも参加しておりますし、今後も堀児童館や俺我児童館・俺我地区公民館の活動にも参加する予定です。これらの活動を通して、地域の皆様と出会い、ふれあい、語り合い、その思いを聴きながら成長させていただいたと感謝しています。ありがとうございます

また、講演会では龍谷大学平安高校野球部原田英彦監督が「夢を目標になりたい自分になる」をテーマに、またグローバル・マナー・スプリングス代表の江上いずみさんが「おもてなしの心」をテーマとした講演等を聴き、夢の実現に向けて、今何を頑張るべきかを考えたり、人との出会いの大切さ、人を大切にする大切さを学びました。

最後に、これからも地域の活動に参加し、学校の様々な取組を発信し、地域の皆さんと共に歩んで行きたいと願っています。

わが校にとってふるさとの桃映校区、そして大堀区、これからもよろしく願っています。

「校訓」を受けつぐ

大正小学校 校長 渡 邊

大正地区の皆様には、日頃より本校教育に多大なご理解・ご支援をいただき、感謝申し上げます。昨年度に引き続き校長としてお世話になっております渡邊と申します。どうぞ宜しくお願いいたします。

大正小学校の校訓は「まごころで たゆまずやれ」です。他の小学校で多くあるのが、「強く」や「正しく」「明るく」などの言葉がよく用いられております。本校の校訓は他の小学校とは少し違って、ほとんど小学校が戦後に新しく制定された中、本校は戦前に制定された校訓であり、その表現も他校と少し違うのではないかと考えます。さて、「まごころで たゆまずやれ」という校訓は、子ども達にとっては大変覚えやすく親しみのあるものとなっております。卒業式には必ずと言っていいほど「お別れ言葉」に入っており、卒業生は「まごころで たゆまずやれ」を声に出して卒業をしていきます。

昨年、六月の学校朝礼において校訓の話をしました。校訓の言葉の意味、制定をされたときの地域の方々の願い、その願いを受けて自分たちはどのように学校生活を送れば良いかなどを話しました。子ども達は、いつも目になっている校訓ですが、その思いなどに触れることはあまり無く、興味深げに話を聞いてくれました。

学校では、校訓の示す生き方ができるよう、六年間の学校生活の中で、目標に向かってあきらめずに努力することの大切さを学ばせていきたいと考えています。そして、校訓を今の時代に受け継ぎ、その教えを常に心に刻み、夢に向かって進んでいける「大正っ子」を育てたいと思います。

今後も、地域の皆様には、どうか温かい目で見守っていただければと思います。よろしく願っています。

桃映コミセン（地域公民館）のご紹介

桃映地域公民館 館長 大西

私は令和元年四月から桃映地域公民館長をさせていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

桃映地域公民館は市内で十番目の地域公民館として、平成二十九年七月に発足し、桃映中学校区を守備範囲に運営され、令和二年の七月で満三才になります。

現在、大正地区には大正地区公民館が地区住民の「学びとふれあい」の拠点として活動されています。そこへ地域公民館という存在が現れ、地域の方々は紛らわしい思いを持たれていることと存じます。運営側も同じ危惧を持っており、この際「桃映コミセン」の名称で地域の皆様に覚えていただこうと組回覧・各戸配布のチラシやたより等には『桃映コミセン』として発信しています。

コミセンの仕事は大きく分けて三つあります。
一つ目は、市の予算を使つての講座や教室の運営です。今年度は手芸4教室、料理2教室、子ども対象3教室、スポーツ3教室、地元の歴史講座2教室、人権講座4教室、音楽鑑賞会1回を開催いたしました。この中には庵我・大正両地区公民館との共催事業もあります。

二つ目は、運営協議会独自の事業で、グラウンドゴルフ大会と囲碁将棋大会、そしてフリーマーケットを実施いたしました。運営協議会は、庵我・大正両地区の自治会・公民館・民生児童委員・各小中学校の各代表等十七名の皆さんで構成され、桃映コミセンの年度計画や予算を審議並びに監査していただいております。

三つ目は、体育館の維持管理業務で、これまで同様、体育館を使用されているサークルやクラブの皆様のご利用をサポートしています。令和元年度も残り僅かとなり、コミセン行事もあと数講座残すのみとなりました。現在、今年度のまとめと次年度の事業計画の詰めの段階

に入っています。

地区の皆様方には今後とも何かとお力添えをお願いすることになりますが、桃映コミセンの講座・教室・行事にご参加いただき、生涯学習とふれあいの場にご活用いただけますよう宜しくお願い致します。

一斉改選に伴う民生児童委員交代のお知らせ

この度の一斉改選に伴い、令和元年十二月一日付で大正地区の民生児童委員が一部交代されています。

退任なされた民生児童委員さんにおかれましては長年にわたり日々ご尽力いただき誠にありがとうございました。また新任の民生児童委員さんにおかれましては、地元の為にまた大正地区全体の福祉の為に活躍いただけますよう宜しくお願いいたします。

